



県立知的特別支援学校～秋保地区平成36年4月開校～

県立特別支援学校の現状と課題

本県の特別支援学校の児童生徒数の推移をみても、平成18年度の1,907人から、平成28年度の2,461人へと、10年で3割増加している。その中でも、知的障害特別支援学校における児童生徒数は、最近10年間で40%増加しており、特に、仙台圏域においては、44%の増加となっている。また、小・中学校の知的障害特別支援学級の児童生徒数も急激に増加しており、最近10年間で48%増加している状況である。本県においては、中学校の特別支援学級を卒業した生徒の9割以上が、特別支援学校の高等部又は高等学園に進学しており、特別支援学校の狭隘化が進む大きな要因になっており、この度、仙台圏域における特別支援学校の新設（太白区秋保町湯元）が下記のとおりに整備が進められて参ります。

現状

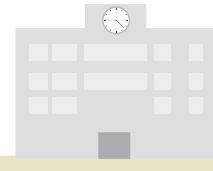
平成29年7月から、旧拓桃医療療育センター及び拓桃支援学校跡地（太白区秋保町湯元）を建設予定地として準備を進めており、周辺の湯元地区連合町内会、秋保温泉旅館組合及び近隣住民の方々に説明を行ってきた他、施設整備に係る様々な事前手続きを進めているところであります。

今後

旧校舎等については、現在解体工事に着手し、平成30年9月末ごろには完了する見込みです。
また、現在、大規模事業評価を受け、平成31年度、設計に着手する予定であります。

県議会
2月定例会
一般質問にて

Q

教育長
答弁

平成29年6月定例会で、秋保地区に新設校を整備し、小学部から高等部を設置するほか高等学園機能についても検討する旨の答弁があった。その後の検討状況と併せ、基本構想、規模、開校までのスケジュールについてどうか。



学校規模としては、現在の狭隘化の状況や将来の対象児童生徒数の見通し等を考慮し、小学部・中学部・高等部合わせて36学級程度とすることを検討しております。高等部については、普通科に加え、軽い知的障害のある生徒を対象とした、いわゆる高等学園機能を持った産業技術科を設置する方向で検討しており、地域資源の活用や地域連携を図りながら、実践的な職業教育を展開したいと考えております。



小

中高等部で210人の定員を設けるとしている。

小学部は
12学級 54人中学部は
6学級 27人高等部は普通科を
6学級 33人高等学園は産業技術科を
12学級 96人

高

等学園とは？



軽い知的障害のある生徒を対象に社会的・職業的に自立が出来るよう生徒の特性に応じた適切な職業教育を行い、寄宿舎も学校内に整備をする。



産

業技術科とは？

「ホテルビジネスコース」「流通サービスコース」「食品製造コース」「福祉コース」を想定しており、地域の地場産業をはじめ企業と学校との連携を生かした職業教育を中心とした教育課程を学び、将来は、ホテル・旅館業やビルメンテナンス業、福祉分野等への就職を視野に入れておる。



宮城県いじめ防止等に関する条例制定へ

子どもたちを取り巻く 厳しい状況…

宮城県内

いじめの認知件数 ワースト全国第3位 ※前年度より1,580件増加

いじめの認知件数：19,288件（全国323,808件）

不登校児童生徒数 ワースト全国第1位 ※児童生徒1,000人あたりの件数中176人

国の調査によると平成28年度のいじめの認知件数がはじめて30万件を突破し、過去最多を更新しました。仙台市内の中学校で、いじめが疑われる自死事件が続けて発生しており、また、県内の不登校児童生徒においては、児童生徒1,000人当たりの件数が176人に達し、全国で最も多いのが現状です。子供たちを取り巻く状況は、複雑化・深刻化しており、いじめ・不登校問題への対策は喫緊の課題となっております。



「行きたくなる学校づくり」推進へ

県教育委員会は、いじめ・不登校の解消に向けて、「子供の声を聴き、ほめ・認める授業づくり」「子供が互いに褒め合う学級づくり」を行い、学校・家庭・地域との連携を図ることで、誰かの役に立ちたい・自分は大切な存在である、という気持ちを高める「志教育」に取り組む方針を示しています。



皆さまの意見と共に、「宮城県いじめ防止等に関する条例」制定へ

現在、議員提案による「宮城県いじめ防止等に関する条例」の制定に向けた検討を進めており、条例骨子案を取りまとめました。いじめ防止等に関して、「いかなる理由があってもいじめは許されるものではない」という共通認識のもと、いじめ問題を克服することを目指し、県民一丸となって、いじめを生まれない環境づくりに取り組まなければならない」を基本理念として、いじめの未然防止、早期発見、解消に向けた対策やその支援の必要性を規定しております。今後、パブリックコメントを2回実施し、9月の本会議へ条例議案を提出する予定となっております。宮城県議会HPにて、条例骨子案を公表しておりますので、皆様からのご意見を私にお寄せ頂ければ幸いです。



委員会の様子

＜いじめ防止法以降の対応の見直し＞

フェーズⅠ

特定の子どもに焦点化した指導のあり方・
「いじめ」の捉え方の限界。いじめの定義が広かつた。

フェーズⅡ(現在)

正確な「いじめ」定義の周知・徹底（※年代別に違う解釈）
「治す」生徒指導から「育てる」生徒指導へ



い

いじめの問題に関しては、大人が子供の手本となるよう社会全体で「意識化」していくことが大切です。
職場やスポーツ界におけるパワハラも横行しており、まずは大人が姿勢を正すべきではないでしょうか。

「いかなる理由があってもいじめは許されないこと」を社会全体で共有し、2度といじめを疑われる自死事件をおこさないためにも、改めて、命の尊厳や命の大切さについて幼少期から大人まで一貫して育むことが必要であります。

「林道二口線」～平成31年夏頃開通へ

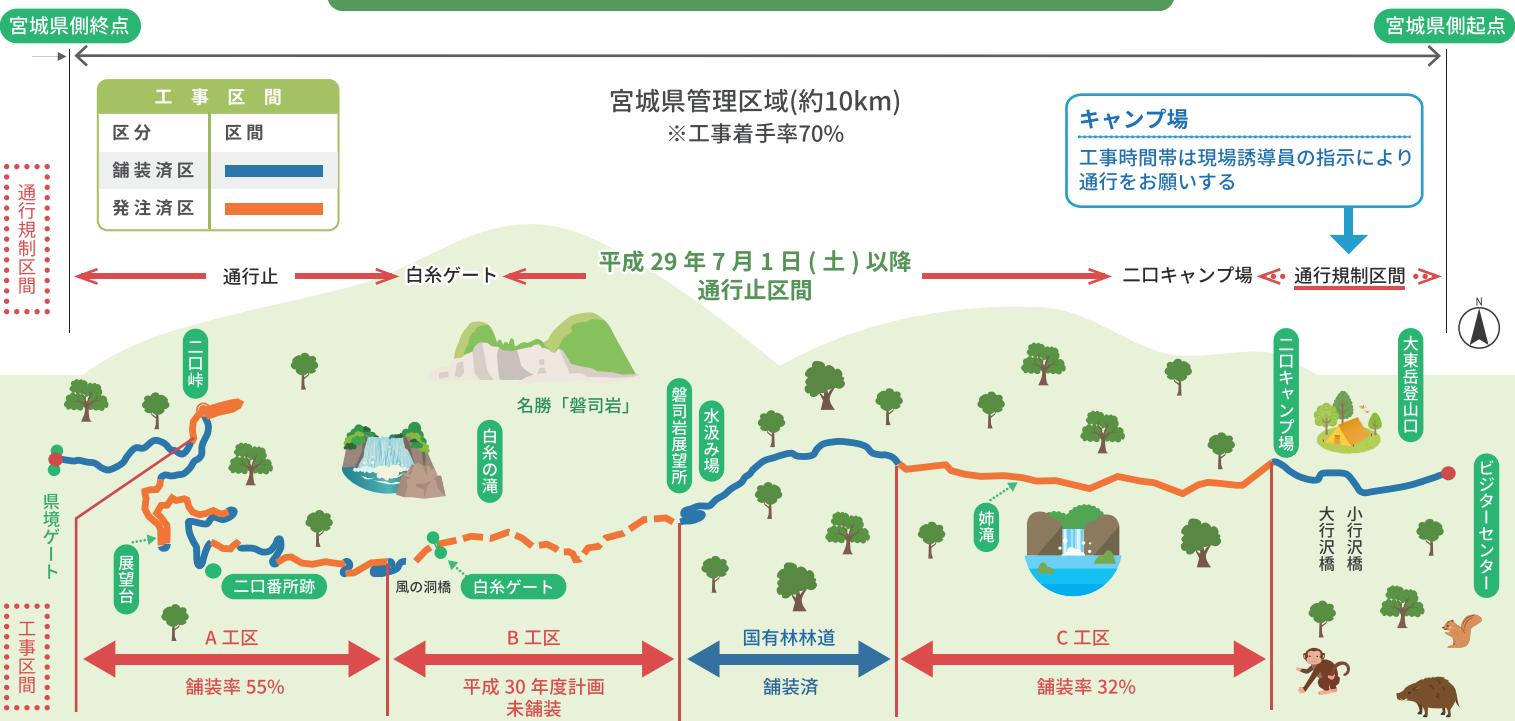
林道二口線（宮城県側：約10km）の現状

太白区秋保町と山形市山寺を結ぶ林道二口線（約19km）には、日本三名瀑といわれる国指定名勝の「秋保大滝」や国指定天然記念物の「姉滝」、奇崖の「磐司」があり、魅力ある観光ルートであります。

国からの地方創生道整備推進交付金を活用し、平成28、29年度の2年間で、下図のとおり、未舗装区間の舗装と法面改良工事が進められております。



林道二口線の工事状況



Q 平成28年6月議会において、早ければ平成30年5月に開通見込みとの答弁であったが、改めて開通時期についてどうか。



村井知事
答弁

開通時期は、1年程ずれ込みまして平成31年夏頃の見通しであります。二口林道の整備に対する地元の期待も大きいことから、今後も財源確保と適切な施工管理に努め、早期に完成できるよう取り組んで参ります。



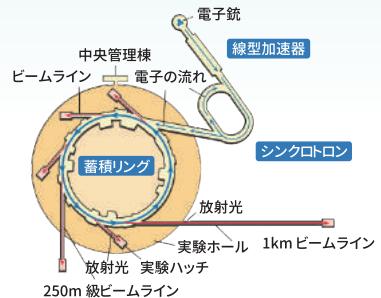
林

道二口線は、昭和40年に宮城・山形両県知事の会談で地元からの強い要望を踏まえて、昭和42年に工事に着手し、昭和48年度に工事完了。その後、平成14年に落石等の危険性から「白糸の滝」付近に通行規制ゲートを設置し、県境までの区間を通行止めにしておりました。上図のとおり、B工区未舗装部分は、工事発注を平成30年度中に実施致します。そのため、この度、総額約2億9千万円の予算と事業期間約3年を経て、冬季期間は除きますが平成31年夏頃に全線開通となります。また、平成30年度仙台市当初予算の中でも、秋保大滝駐車場整備事業（約100台分）増加、磐司駐車場整備（約40台分）新設も可決され、今後も仙台市と連携しながら効果的な観光PRを行い、更なる秋保地区の発展に繋げて参ります。

東北放射光施設～誘致に向けた動き～

～これまでの動き～

放射光施設とは、加速させた電子「放射光」を使ったナノを見るための巨大な顕微鏡で、先端学術研究・先端産業技術開発に必須の基盤施設です。国内の放射光施設は9カ所あるが、東北以北は空白地帯となっており、「東北放射光の建設実現」が求められています。現在、建設実現に向け文部科学省に対し、光科学イノベーションセンター（产学研連携組織）・宮城県・仙台市・東北大・東北経済連合会（東経連）の連名で応募をし、これまでのヒアリングや現地調査など審査に入っております。



東北大青葉山新キャンパスの放射光施設候補地？



委員長 答弁
地盤の安定性に加え、交通アクセス、理・工・農・医分野にまたがる東北大研究機関との連携、産業集積の可能性など・・・

全7項目の高評価！



放射光施設の建設費や運用費は？



整備費 約340億円 年間運用費 約29億円

※文科省の試算では、国が200億円を負担。民間側は建屋と研究棟、ビームラインの一部の計140億円を見込む。現在、企業から1口5,000万円の出資金を募っており、これまでにIHIや三菱重工業など約50社から出資を取り付ける。一方、東経連は地元企業向けに1口50万円で利用できるフレンドリーバンクを開設。



2023年頃運転開始を目指す東北放射光施設による期待

東北大の試算によると…

「創造的復興重点施策」震災復興後の起爆剤！

10年後

- 約3,200億円の生産誘発
- 約1万4,000人の雇用創出！

理工業学生の県内定着や、新たな雇用創出など県内経済の活性化

研究開発促進や大企業との取引・メンテナンス業務の受注など新たな業務開拓

私たちの生活のつながり



放射光施設

研究の促進

健康医療 … 新薬の開発、がんの超早期発見など

材料研究 … 大学、研究機関などの共同利用による先端材料開発

基礎科学 … 物理、科学、地学、生物のあらゆる面での新発見の可能性

情報通信 … 電子デバイスのさらなる微細化、高速化

- * 昭和47年9月4日生まれ 乙女座 A型
- * 仙台市立八木松小学校卒業
- 仙台市立郡山中学校卒業
- * 宮城県仙台第一高等学校卒業(高43回)
- * 東北学院大学法学部卒業

- * 衆議院議員公設秘書
- * 宮城県議会議員選挙 当選(3期目)
会派／自由民主党・県民会議
- * 環境生活農林水産委員会(委員長)
いじめ・不登校等調査特別委員会

- * 宮城県私立幼稚園PTA連合会会長
- 仙台市早起き野球協会副会長
- 八木松スポーツ少年団長 他
- * 家族は妻と長男・次男の4人

皆さまの「声」となり、「力」となって参ります。



Facebookページ <https://www.facebook.com/sasakikoshi>
開設しております *

是非 を押して下さい。

宮城県議会議員 佐々木幸士事務所
〒982-0031 仙台市太白区泉崎1-33-10-111
TEL: 304-5854 FAX: 304-5853
メール: post@sasakikoshi.com

